

会 議 録

1 会議名	平成24年度第4回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成24年7月23日(月) 午後2時00分～午後4時00分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター大会議室
4 出席者	<p>【委員】</p> <p>太田正, 東原勸, 山口和子, 江連脩身, 神山光男, 川津昭夫, 北見和弘, 星委員, 横塚境, 君島恭子, 櫻井清一, 高橋みどり, 藤井直和</p> <p>【事務局】</p> <p>地域自治制度担当副参事, 上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 自治振興課職員, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公 開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】 なし</p> <p>【記者】 なし</p>
7 会議経過	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) 合併市町村基本形計画の執行状況について</p> <p>(2) 地域のまちづくりに関する施策の提案について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p>

1 開 会
平成24年度第4回宇都宮市上河内自治会議開催
2 あいさつ
太田会長よりあいさつ
3 議 事
(1) 合併市町村基本計画の執行状況について

会 長	<p>次第3の議事に入らせていただく。</p> <p>まず(1)の合併市町村基本計画の執行状況について、事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>合併市町村基本計画の執行状況について、第3回の自治会議で協議した内容を踏まえ、答申書(案)の文言を一部修正した部分について説明させていただきます。</p> <p>答申書(案)の8ページ「生涯学習センター整備事業」に関する意見の部分で、修正前は「検討委員会などを設置し、地域の意見を聞くとともに」という表現を「地域で組織する検討委員会などから意見を聴取し」に修正したので、確認願いたい。</p>
会 長	<p>前回の協議を踏まえ、最終的に1箇所修正をしたということであるが、修正箇所の確認を含め、全体を通して何か意見はないか。</p>
全委員	<p>意見なし。</p>
会 長	<p>それでは、確認いただいたということで、最終的にこの内容で答申書を確定させていただきます。</p> <p>なお、8月7日に私と副会長で市長に答申書を提出する予定であることを報告させていただきます。</p> <p>それでは、次の議事に移らせていただく。</p>
<p>(2) 地域のまちづくりに関する施策の提案について</p>	
会 長	<p>次に(2)の地域のまちづくりに関する施策の提案について、事務局から説明願う。</p>
事務局	<p>地域のまちづくりに関する施策の提案について、グループ協議の進め方を説明させていただきます。</p> <p>基本的には前回同様に実行プランの検討と目標の設定について、各グループに別れて議論していただく訳であるが、今回は前回のグループ協議で出された意見を参考にさせていただき、前回の意見になかった取組みや前回出された取組みを基本とした手法の補足といった更なる内容の具体化を図っていただきたい。言い換えれば、前回の意見を活かしてより良いものにしていくという考え方で、完成度を高めることを念頭に置いて議論していただくということである。</p> <p>また、本日のグループ協議は、前半30分・後半30分に分け、テーマを移動させ2回のグループ協議を行うため、時間の都合上、グループ意見の発表については、各グループ5分以内で願います。</p> <p>次に今後の提案に関わるスケジュールについて説明させていただきます。</p> <p>本日の自治会議で実行プランについてのグループ協議が終了する訳であ</p>

	<p>るが、今後は、今回までに出された意見をまとめたうえで、より実現可能な提案内容になるよう、自主的な地域のまちづくりを推進している「上河内地区まちづくり協議会」に情報提供して、アドバイスをいただく考えである。そして、まちづくり協議会からいただいたアドバイスを踏まえ、第5回の自治会議では実行プランについて最終的な協議を行い決定していく考えであり、最終的には、来年2月の提案書提出に向け協議を進めていくといった流れを予定している。</p> <p>なお、実行プランについて、まちづくり協議会に情報提供する前に、3つあるテーマ間の整合性を図るために、文言調整等をさせていただく場合があることについて、ご理解願いたい。</p> <p>以上で説明を終了する。</p>
会 長	ただいまの説明について、意見・質問はないか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	<p>前回と今回のグループ協議をもって3つのテーマの実行プランをトータルで検討することになるが、その結果に基づいて、今後、まちづくり協議会から意見をいただき、意見の反映を含め、改めて取りまとめていくということである。従って自治会議のみで完結させるというのではなく、まちづくり協議会と連携しながら、意見の反映に基づいて具体的な取組みを進めていく。いわゆる車の両輪として自治会議とまちづく協議会が相互に検討を重ねてより良いものを仕上げていくということである。</p> <p>それでは、前半のグループ協議をお願いします。</p>
グループ協議を実施（前半）	
会 長	<p>それでは、グループ協議の結果を発表していただく。</p> <p>まず、子育て・教育グループから発表をお願いします。</p>
委 員	<p>子育て・教育グループの結果を発表させていただきます。</p> <p>①地域主催行事への積極的参加の推進については、まず地域行事に興味を持っていたただく必要があり、3年後までに地域全体を視野に入れた地域行事のPRを行い、獅子舞やおはやしなどの体験活動の場を広く取り入れて周知していこうと考えた。5年後までの取組みとして、地域行事を継承していくために、先ほどの取組みに輪をかけ、学校・幼稚園・保育園と連携し、いろんな人たちに知っていただくことも必要であると考えた。また、そうした行事を主催している自治会の方にも地域外に行事をアピールしていくことも必要であると考えた。なお、目標は地域主催行事の継承とした。</p> <p>②各種技能者による次世代を担う人材の育成については、子育て・教育</p>

	<p>という観点から、学力を向上させるための技能を持った方という考え方が適切ではないかということで、前回出された5年後までの取組みにある「各種人材育成講座の開催」というところで、語学教室や料理教室などの体験型教室などを開催し、子どもたちに必然的に覚えていただくことが必要であると考えた。</p> <p>③スポーツを通じた子どもたちの絆づくりの推進については、最終的には10年後までに官民一体の総合スポーツクラブを設立することを目標に、5年後までに既存施設を有効活用して利用価値を高めたうえで、競技スポーツに精通した指導者の協力のもとで、子どもたちがより充実したスポーツの指導を受ける必要があると考えた。</p> <p>④地域の連携による地域交流活動の充実については、方策①と重なる部分があると思うが、3年後までに小学校対抗行事などを通じて、地域行事に参加させることが必要であると考えた。なお、方策③と方策④に関連すると思うが、いじめのない地域という目標を考えた。</p> <p>⑤地域における子育て支援の充実については、時間の都合上、ここまで検討する時間がなかった。</p> <p>以上が子育て・教育グループで検討した内容である。</p>
会 長	ただいまの発表について、何か意見はないか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	次に、環境・景観・防災・上下水グループの発表をお願いします。
委 員	<p>①豊かな水を活かしたまちづくりの推進については、3年後までの取組みとして、鬼怒川の定期的検査や各家庭の地下水の検査が必要であると考えた。基本的に健康診断などは各家庭に行き届いていると思うが、環境への定期的検査も同様に重要であるということである。</p> <p>②地域ぐるみの環境保全活動の推進については、3年後までの取組みとして、ごみの0運動の推進ということで、定期的な清掃活動を取り入れる必要があると考えた。また、5年後までの取組みとして、ホテルの生息地を増やすということで、川の清掃とカワナナの調査などを行うということが必要であると考えた。また、そうした取組みを活かし、10年後にはホテルマップの作成に繋げていく考えである。</p> <p>③耕作・山林放棄地の有効活用の推進については、3年後までの取組みとして、休耕地の作付け品種を見つけるということで、他地区でどのようなことを行っているのか利用調査を行う必要があると考えた。また、目標は放棄地の減少とした。</p> <p>④自然を活かした景観活用交流の充実については、前回、3年後までの</p>

	<p>取組みにあった「羽黒山周辺のハイキングコースの開拓」というところで、地域にあるいだらぼうの会が活発に活動を行っていることから、その方たちの協力を得て、ハイキングコースを開拓してはどうかと考えた。</p> <p>⑤災害に強い地域づくりの推進については、前回、3年後までの取組みにあった「ハザードマップの見直し」というところで、地域に合った上河内版ハザードマップの作成や防災無線の設置の強化も必要であると考えた。なお、いざという時には隣組との連携が重要ではないかという意見も出された。</p> <p>以上が環境・景観・防災・上下水グループで検討した内容である。</p>
会 長	だだいまの発表について、何か意見はないか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	最後に、健康・福祉グループの発表をお願いします。
委 員	<p>健康・福祉グループの結果を発表させていただく。</p> <p>①高齢者を活用したボランティア活動の充実については、ボランティア活動の増加という目標を掲げ、3年後までにボランティアメニューの把握ということで、どんなボランティアが必要なのかをニーズ調査を行う必要があると考えた。</p> <p>②温泉施設等を利用した健康づくりの推進については、5年後までの取組みとして、温泉施設の改善ということで、現在はお風呂からお風呂に移動するところの手すりがないため、非常に高齢者や体の不自由な方には危険であることから、危険防止のための手すりなどを設置する必要があると考えた。また、温泉施設等を利用し、健康づくりを推進することで医療費負担が少なくできると考え、目標を医療費負担の減とした。</p> <p>③高齢者の外出支援の充実については、前回、5年後までの取組みにあった「サロンをつくる」というところで、高齢者の中には送り迎えをしてもらうことに抵抗がある方もいるのではないかと思います、地区毎に集まれる場所として、公民館などを活用して身近に高齢者が集まれる場所をつくる必要があると考えた。そうしたことを踏まえ、目標を引きこもり高齢者の減少とした。</p> <p>④地元の新鮮な食材を活かした食育の推進については、前回、3年後までのところで、「料理研究会をつくる」という意見が出ていたので、今回は郷土料理や病気改善のための料理教室など具体的な内容を考えた。また、学校と連携して、夏休みなどの長期休みを利用した料理教室の開催もできればと考えた。なお、そうした取組みを活かし、目標を地産地消料理の開発とした。</p>

	<p>⑤世代間交流を通じた生きがいつくりの推進については、3年後までの取組みとして、地元保育園との老人会の連携ということで、現在、行っているところもあると思うが、水鉄砲・お手玉・おはじきなどの遊びを子どもたちに伝えていくことも必要であると考えた。目標としては、世代間のふれあい増加とした。</p> <p>以上が健康・福祉グループで検討した内容である。</p>
会 長	ただいまの発表について、何か意見はないか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	<p>それでは、全体を通じた感想を述べさせていただく。</p> <p>それぞれのグループで前回の意見を踏まえながら、取組みや手法について改善や追加をしていただいたと思うが、時間の都合上、煮詰まりきれていない部分があったかと思う。</p> <p>子育て・教育については、人材育成の具体的な内容についての意見が出されたということで、前回の内容をより具体化していくというところで成果があったと思う。</p> <p>環境・景観・防災・上下水については、水質保全の問題にしても耕作放棄地の問題にしても、実際はどうなっているのかという調査を踏まえて、具体的な対応を考えていくということで、実態の把握というところに重点を置いて意見が出されたと思う。</p> <p>健康・福祉においては、目標の設定というところで前回の目標を改めて見直しており、特に医療費負担の減少といった重要な視点を目標の中に加えていただいたと思う。</p> <p>いずれにせよ、こうした形で別のグループが提案したものを、さらに別のグループが具体的に発展させるという意味では良かったのではないかと思う。引き続き最後のグループ協議では、さらなる具体化を図っていただきたい。</p> <p>それでは、テーマを移動して最後のグループ協議をお願いします。</p>
グループ協議を実施（後半）	
会 長	<p>それでは、グループ協議の結果を発表していただく。</p> <p>まず、子育て・教育グループから発表をお願いします。</p>
委 員	<p>子育て・教育グループの結果を発表させていただきます。</p> <p>①地域主催行事への積極的参加の推進については、地域行事に参加するにせよ、実際に地域にどんな行事があるのかを知る必要があることから、3年後までに地域行事の調査を行うとともに、学校教育と連携し、学校行事に取り入れていく必要があると考えた。</p>

	<p>②各種技能者による次世代を担う人材の育成については、5年後までの取組みとして、地域に於ける伝統行事の継続が必要であると考えた。また、前回の意見で「どういった技能者が地域にいるのかを調査する」という意見があったが、伝統行事などを教えていく方も必要であると考えた。</p> <p>③スポーツを通じた子どもたちの絆づくりの推進については、夏休みに子どもたちでラジオ体操を行っていると思うが、あまり長い期間実施されていない現状があり、3年後までに実施期間を拡大するなどして、ラジオ体操を通じた子どもたちの連帯を強化することが必要であると考えた。</p> <p>④地域の連携による地域交流活動の充実については、3年後までに三世交代交流活動を始めとした諸活動の実施という取組みを考えた。なお、参加者が満足できる活動を行うには、目的意識をはっきりさせることが必要であると考えた。</p> <p>⑤地域における子育て支援の充実については、今、問題となっている子どもたちのいじめについて、3年後までに対応していく必要があると考えた。最終的には各家庭の子どもに対するしつけが重要であり、そうしたしつけについて話し合える機会を設ける必要があると考えた。</p> <p>以上が子育て・教育グループで検討した内容である。</p>
会 長	ただいまの発表について、何か意見はないか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	次に、環境・景観・防災・上下水グループの発表をお願いします。
委 員	<p>①豊かな水を活かしたまちづくりの推進については、特に追加意見はなかった。</p> <p>②地域ぐるみの環境保全活動の推進については、3年後までにのところに「ごみ0運動の促進」という取組みがあるが、小さいころからごみの分別について覚えさせることも大切であり、地元の保育園などと連携し、ゲーム感覚で覚えさせるなどの工夫が必要であると考えた。</p> <p>③耕作・山林放棄地の有効活用の推進については、3年度までに畜産農家の方に飼料作付けをしていただくなどして、荒地を解消することができればと考えた。そうしたことから、目標としては放棄地の減少とした。</p> <p>④自然を活かした景観活用交流の充実については、5年後までの取組みとして西鬼怒川堤の整備ということで、梵天の湯脇にある桜並木がもう少し先まで植林されればすばらしいと考えた。目標は、自然を活かした交流人口の増加とした。</p> <p>⑤災害に強い地域づくりの推進については、3年後までの取組みとして地域内の井戸水調査ということで、どの家庭に井戸があるのか、その水が</p>

	<p>飲料水に適しているかどうかの調査を行政が行い、災害時に井戸水を提供していただけるようなシステムをつくる必要があると考えた。また、調査に基づく井戸水マップを作成してはどうかという意見が出された。5年後までにの取組みとして、災害時活用できる公園を整備するという事で、公園などに災害時に利用できる簡易トイレの設置も考えてはどうかと考えた。なお、目標としては、地域の連帯感を高めるという意味で、近所付き合いの充実とした。</p> <p>以上が環境・景観・防災・上下水グループで検討した内容である。</p>
会 長	ただいまの発表について、何か意見はないか。
全委員	意見・質問なし。
会 長	最後に、健康・福祉グループの発表をお願いします。
委 員	<p>健康・福祉グループの結果を発表させていただく。</p> <p>①高齢者を活用したボランティア活動の充実については、ボランティアといっても需要と供給があり、3年後までにボランティアバンクを設置し、ニーズを把握する必要があると考えた。また、5年後までにボランティアバンク経営の安定を図っていかなければならないということで、ボランティアの有料化を考えた。それによって高齢者ボランティアの方の生きがいにも繋がるという考えである。</p> <p>②温泉施設等を利用した健康づくりの推進については、5年後までの取組みとして、温泉を利用した機能回復ということで、リハビリ機能をもった施設とすることでより幅広い活用ができると考えた。</p> <p>③高齢者の外出支援の充実については、5年後までの取組みとして、活動施設の設置ということで、公園などを多目的利用したらどうかという意見が出された。例えば、既存の公園などにゲートボール場など、高齢者が運動できる場をつくることで健康づくりを推進するとともに、公園の活用も活発になれば良いのではないかと考えた。</p> <p>④地元の新鮮な食材を活かした食育の推進については、食材を供給するというのもひとつの食育であると考え、5年後までの取組みとして、食材の種類とその生産量を増加させることで、郷土料理の継承にも繋がると思った。それには、親子での生産活動や高齢者が参加して生産体制を強化していく必要があると考えた。また、今まで出された取組みを総括した目標として、長寿命化とした。</p> <p>⑤世代間交流を通じた生きがいづくりの推進については、5年後までの取組みに「サロンをつくる」という意見があるが、高齢者だけではなく小中学生の方たちも自由に来て、囲碁や将棋などができるようにすれば、世</p>

	<p>代間交流や高齢者の生きがいに繋がるのではないかと考えた。</p> <p>以上が健康・福祉グループで検討した内容である。</p>
会 長	<p>ただいまの発表について、何か意見はないか。</p>
全委員	<p>意見・質問なし。</p>
会 長	<p>それでは、全体を通した感想を述べさせえていただく。</p> <p>最後の発表をいただいた訳であるが、非常に中身のある内容であったと思う。特に子育て・教育のところでは、行事などの目的を明確にする必要があるということ、今まで行ってきたから今回も行うというのではなく、何のための行うのかをそれぞれが理解して参加すれば、いろいろな取組みの中で改善しながら新たな取組みも生まれてくると思う。また、意欲的に参加していただけるということにも繋がる重要な意見であったと思う。</p> <p>環境・景観・防災・上下水については、井戸水のマップづくりが必要であるという意見があったと思うが、定期的な検査を行政にお願いするが、万が一の災害時には井戸を使わせていただくといった、ギブアンドテイクでそれぞれの協力体制を構築していくというところに繋がっていくという重要な意見であったと思う。</p> <p>健康・福祉については、高齢者の外出支援については、今ある公園などの有効活用としてゲートボール場をつくっていくという意見があったが、ゲートボール場の整備というだけではなく、そのことを通じて、現在、あまり活用されていない公園などを有効に活用していくとともに、高齢者の健康づくりや生きがいづくりに繋げていくといった、ひとつの事柄だけに限定せず色々な形で相乗効果をもたらすような重要な意見であったと思う。</p> <p>全体として、目的をはっきりさせると同時に取組みの根拠となるような調査を行う。さらにはひとつの取組みが別の効果を呼び込んでくるような関連付けをしながら、全体としてまちづくりの成果を高めていくといった意見がたくさん出されたのではないかと思います。</p> <p>今後は、前回と今回の意見を整理させていただいたうえで、まちづくり協議会に情報提供し、まちづくり協議会の視点から自治会議の検討結果を受け止めていただく。そして、まちづくり協議会からアドバイスをいただき、もう一度自治会議に戻し、最終的に皆さんの確認を得て実行プランを決定していくということでご理解願いたい。</p> <p>最後に全体を通して何か意見はないか。</p>
全委員	<p>意見・質問なし。</p>
会 長	<p>それでは、議事はここまでとさせていただきます。</p>
4 その他	

会 長	次に次第4の「その他」について、意見を求める。
事務局	次回の平成24年度第5回宇都宮市上河内自治会議は、10月を予定している。
会 長	他になければ本日の議題は終了させていただく。
全委員	意見・質問なし。
5 閉会	
会 長	以上で、平成24年度第4回宇都宮市上河内自治会議を終了する。